



報道発表資料の配付日時 11月22日(金) 11時00分

発表項目 (行事名)	2019年度「心の輪を広げる体験作文」の道内入賞者について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 内閣府では、障がい者に対する国民の理解の促進を図るため、毎年、都道府県・指定都市との共催により、「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を公募している。</p> <p>○ 都道府県・指定都市で選考・推薦された作品の中から、内閣府の審査委員会の審査により入賞作品を決定している。</p> <p>○ <u>今年度の審査の結果、「心の輪を広げる体験作文」3,049点のうち、高校生区分において、北海道から推薦した次の方の作品が、「佳作」に入賞した。</u>        受賞者には、内閣府から表彰楯が贈られるが、その伝達については、檜山振興局が別途実施。(別添「檜山振興局報道発表資料」のとおり)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">「心の輪を広げる体験作文」高校生区分 佳作</p> <p style="text-align: center;">作品名 「弟と家族」</p> <p style="text-align: center;">所属・氏名 北海道上ノ国高等学校 3年生 <small>こばやし まひろ</small> 小林真柊さん</p> </div> <p>(今年度の応募状況 全国 作文3,049編、ポスター 1,163点        (うち道内(札幌市を除く)の応募数 作文 3編、ポスター 0点)</p> <p>○ 小林さんの作品は、入選作品の「作品集」(内閣府発行)に掲載され、都道府県や全国小中高等学校に配布される。</p> <p>○ 詳細は別添資料のとおり。        ・「心の輪を広げる体験作文」入賞者一覧        ・事業の概要(内閣府の作品募集チラシ)</p>		
参考	<p>○ 内閣府では、入賞結果については、内閣府ホームページで公表済みであるが、この件を含めた「障害者週間」全体の実施に係るプレスリリースを11月下旬に予定している。</p> <p>問合せ先：内閣府政策統括官(共生社会政策担当) 付障害者施策担当        電話 03(5253)2111</p>		
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所) 檜山振興局(別添「檜山振興局報道発表資料」を配付する)	
担当(連絡先)	保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課(担当者：主幹 秋田裕幸) TEL ダイヤルイン 011-204-5277 内線25-705		

内閣府 2019年度「障害者週間」関係事業  
「心の輪を広げる体験作文」入賞者一覧

最優秀賞(内閣総理大臣賞)					
区分	県・市	氏名	性別	学校名/職業等	作品名
小学生	鹿児島県	やすだ わく	男	鹿児島市立西紫原小学校5年	希望の星
		安田 湧			
中学生	福岡市	つる じゆりあ	女	福岡市立元岡中学校3年	障害のあるとき
		鶴 樹里愛			
高校生	大分県	はせがわ あゆみ	女	大分県立国東高等学校双国校2年	障がい者の家族として
		長谷川 歩			
一般	滋賀県	おおすみ きょうこ	女	公務員	あっち側とこっち側
		大角 今日子			

優秀賞(内閣府特命担当大臣賞)					
区分	県・市	氏名	性別	学校名/職業等	作品名
小学生	岐阜県	きむら みわ	女	岐阜市立長良東小学校2年	おとうのために行けること
	神戸市	木村 実和	女	神戸市立長坂小学校3年	おじさんともうどう犬
		ごとう きさら			
富山県	ひらの かのん	女	高岡市立福岡小学校3年	わたしの大きい弟	
中学生	静岡県	おおむね まい	女	静岡市立薬科中学校3年	「個性」と生きること
	大棟 真衣				
	鳥取県	たけむら そうた	男	鳥取県立鳥取鹽学校中学部1年	僕の挑戦
千葉県	千葉県	なかい きさき	女	千葉大学教育学部附属中学校1年	偽りのない笑顔
		永井 妃咲			
高校生	大阪市	おくだ ちか	女	関西創価高等学校2年	ひよこのストラップ
	奥田 千華	女	沖縄県立美里高等学校2年	私の宝物	
	沖縄県				きんじょう すず
大阪府	たんじ ほるか	女	ルネサンス大阪高等学校2年	普通ではなくて良い	
一般	和歌山県	おくの さちこ	女	無職	人生を支えてくれる人たち
	埼玉県	奥野 幸子	女	無職	人生を支えてくれる人たち
		すどう ゆうと			
徳島県	須藤 優斗	男	大学生	生きていく理由	
		なかにし みわ	女	会社員	二人三脚
		中西 美和			

佳作					
区分	県・市	氏名	性別	学校名/職業等	作品名
小学生	山形県	あびこ ゆきみ	女	寒河江市立寒河江中部小学校5年	本当のやさしさって？
	佐賀県	おおはた せいら	女	佐賀市立日新小学校2年	わたしのだいすきなおかあさん
		大畑 星来			
	仙台市	こやす りょうと	男	仙台市立木町通小学校6年	妹から教えられたこと
	横浜市	たざわ やすなり	男	横浜市立西本郷小学校6年	まほうの笑顔
香川県	田澤 康成	男	三木町立氷上小学校3年	私の兄	
中学生	広島県	ほんだ まい	女	三木町立氷上小学校3年	私の兄
	宮崎県	いとう さくら	女	盈進中学校3年	最高のクリスマスプレゼント
		伊藤 咲夢			
	宮崎県	えとう みきあ	男	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校1年	優子ちゃん
	長崎県	江藤 海輝	男	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校1年	優子ちゃん
千葉県	しのほら ひかり	女	長崎県立長崎東中学校1年	人との関わり方	
高校生	千葉県	せお ななみ	女	千葉大学教育学部附属中学校2年	小さな勇気
	栃木県	瀬尾 菜々美	女	宇都宮短期大学附属中学校3年	よりよい未来社会に向かって
		湯澤 杏夏			
	栃木県	ゆざわ きょうか	女	宇都宮短期大学附属中学校3年	よりよい未来社会に向かって
	福島県	おおしま そら	女	栃木県立宇都宮中央女子高等学校3年	視覚障がい者との交流を通して
北海道	大島 爽楽	女	栃木県立宇都宮中央女子高等学校3年	視覚障がい者との交流を通して	
一般	福島県	おおむら りみ	女	福島県立平支援学校高等部3年	体験を通して描いた私の『未来予想図』
	北海道	大村 莉未	女	福島県立平支援学校高等部3年	体験を通して描いた私の『未来予想図』
		こばやし まひろ			
	千葉県	小林 真柊	女	北海道立ノ国高等学校3年	弟と家族
	鹿児島県	にしうら ひろき	男	筑波大学附属聴覚特別支援学校2年	時代にあった障害者と健常者のつながり
鹿児島県	西浦 大貴	男	筑波大学附属聴覚特別支援学校2年	時代にあった障害者と健常者のつながり	
一般	鳥取県	ひわたし みわ	女	鹿児島県立鶴丸高等学校2年	日常
	静岡県	日渡 美和	女	鹿児島県立鶴丸高等学校2年	日常
		たけうち あけみ			
	福岡県	竹内 明美	女	学生(鳥取県立鳥取盲学校専攻科理療科2年)	ふれあいノート
	福岡県	ほらだ きみえ	女	無職	「こころのバリアフリー活動」への想い
原田 君江					
大阪府	やっさき みちこ	女	教員	障がいのある人との出会い、ふれあいの輪について	
新潟県	八崎 美智子	女	教員	障がいのある人との出会い、ふれあいの輪について	
	よしざわ まさひろ	男	会社員	障がい者に対する関心	
	吉澤 正浩	男	会社員	障がい者に対する関心	
	よしだ まさとし	男	非常勤職員	共に成長する	
	吉田 正年	男	非常勤職員	共に成長する	

2019  
年度

さくひんほしゅう

# 作品募集

体験  
作文

ポスター

毎年、12月3日から9日までは「障害者週間」です。

「障害者週間」は、障害のある人があらゆる分野の活動に参加することを促進するために「障害者基本法」により設けられているものです。この期間を中心に、障害や障害のある人に対する関心や理解を深めるための様々な取組が全国各地で実施されます。

内閣府では、「障害者週間」の取組の一つとして、都道府県・指定都市と共催して「心の輪を広げる体験作文」と「障害者週間のポスター」を募集しています。

全ての国民が、障害の有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重し合い、理解し合いながら生きることのできる「共生社会」を実現するため、障害や障害のある人に対する身近な体験や自分の思いを作文や絵にして応募してみませんか。

詳しい応募方法については、お住まいの都道府県・指定都市の担当窓口（裏面）にお問い合わせください。



2018年度「障害者週間のポスター」  
小学生区分 最優秀（内閣総理大臣）賞  
「楽しいピアノの音」  
富山県 富山市立東部小学校3年  
南目 花陽実 さんの作品

## 心の輪を広げる

### 体験作文

**募集テーマ** 出会い、ふれあい、心の輪

— 障害のある人となない人との心のふれあい体験を広げよう —

※応募する作品の題名は、自由に設定可能です。

**応募資格** 小学生以上

※小学生以上であれば、障害の有無にかかわらずどなたでも応募可能です。

**応募方法**

- ① 応募は「小学生区分」、「中学生区分」、「高校生区分」及び「一般区分」のいずれかとし、未発表の作品1編に限り、未発表の作品1編に限り、未発表の作品1編に限り。
- ② 作文の内容は、障害のある人となない人との心のふれあいの体験をつづったものとします。
- ③ 作文は、原則として400字詰原稿用紙（B4判縦書き）を使用し、「小学生区分」及び「中学生区分」については2～4枚程度、「高校生区分」及び「一般区分」については4～6枚程度とします。
- ④ 応募作品には、題名（作品のタイトル）、住所、氏名（ふりがな）、年齢（生年月日）、性別、職業又は学校名（学年）、電話・FAX番号、障害の有無・程度、その他参考となる事項を記入した用紙を添付してください。

## 障害者週間の

### ポスター

**募集テーマ** 障害の有無にかかわらず誰もが能力を発揮して安全に安心して生活できる社会の実現

※応募する作品の題名は、自由に設定可能です。

**応募資格** 小学生及び中学生

※小学生及び中学生であれば、障害の有無にかかわらずどなたでも応募可能です。

**応募方法**

- ① 応募は、「小学生区分」及び「中学生区分」のいずれかとし、未発表の作品1点に限り、未発表の作品1点に限り、未発表の作品1点に限り。
- ② ポスターの内容は、障害のある人に対する理解促進に資するものとし、障害のある人となない人の相互理解・交流等を表現したものとします。  
※作品中に標語や文字は入れないでください。
- ③ ポスターの規格は、画用紙のB3判（横364mm×縦515mm）又はいわゆる四つ切り（横382mm×縦542mm）を使用し、これに満たない作品は、B3判又は四つ切りの大きさの台紙に貼付してください。なお、内閣府が「障害者週間」の広報用ポスターを作成する際のレイアウトの都合上、作品は縦位置（縦長）のみとします。  
彩色画材は、自由です。
- ④ 応募作品には、題名（作品のタイトル）、住所、氏名（ふりがな）、年齢（生年月日）、性別、学校名（学年）、電話・FAX番号、障害の有無・程度、その他参考となる事項を記入した用紙を添付してください。  
※既に公表されている作品や写真等は、資料として使用しないでください。

**その他** 最優秀賞に選定した作品1点は、内閣府が作成する「障害者週間」の広報用ポスターの原画として使用する予定です。

● 募集期間

締切日：8月30日

応募先：お住まいの総合振興局（振興局）

保健環境部社会福祉課

（札幌市にお住まいの方は札幌市へ提出）



内閣府

内閣府ホームページ

<https://www8.cao.go.jp/shougai/index.htm>

# 御応募・お問合せは、各都道府県・指定都市担当窓口までお願いいたします。

## 表彰

- ① 都道府県又は指定都市から推薦された作品は、「作文」については、区分ごとに最優秀賞1名、優秀賞3名及び佳作5名以内を選定し、「ポスター」については、区分ごとに最優秀賞1名、優秀賞1名及び佳作5名以内を選定します。
- ② 最優秀賞受賞者及び優秀賞受賞者に対しては、それぞれ内閣府大臣又は内閣府特命担当大臣からの賞状及び表彰書を贈呈します。佳作受賞者に対しては、表彰書を贈呈します。
- ③ より多くの方に機会を設ける必要があるため、「作文」及び「ポスター」の入賞は、過去を通して一度限りとし、作品の応募自体を制限するものではありません。

## 入賞作品の活用等

- ① 入賞作品は、全国的な啓発広報に活用します。
- ② 内閣府に推薦のあった作品の著作権は、内閣府に帰属します。
- ③ 個人情報連絡等のみを使用しますが、内閣府に推薦のあった作品の応募者の氏名、学校名、学年又は年齢等については、広報や作品集等に使用・掲載することがあります。

## 主催

内閣府並びに都道府県及び指定都市

## 問合せ先

各都道府県・指定都市の担当窓口(以下一覧)又は  
内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付障害者施策担当  
電話番号：03-5253-2111

## 2019年度「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」募集 都道府県・指定都市担当窓口一覧

都道府県・指定都市名	担当窓口	電話番号
北海道	保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課	011-204-5277
青森県	健康福祉部障害福祉課	017-734-9307
岩手県	保健福祉部障がい保健福祉課	019-629-5447
宮城県	保健福祉部障害福祉課	022-211-2538
秋田県	健康福祉部障害福祉課	018-860-1331
山形県	健康福祉部障がい福祉課	023-630-3303
福島県	保健福祉部障がい福祉課	024-521-7170
茨城県	保健福祉部障害福祉課	029-301-3357
栃木県	保健福祉部障害福祉課	028-623-3490
群馬県	健康福祉部障害政策課	027-226-2634
埼玉県	福祉部障害者福祉推進課	048-830-3310
千葉県	健康福祉部障害者福祉推進課	043-223-2338
東京都	福祉保健局障害者施策推進部計画課	03-5320-4143
神奈川県	福祉子どもみらい局福祉部障害福祉課	045-210-4709
新潟県	福祉保健部障害福祉課	025-280-5212
富山県	厚生部障害福祉課	076-444-3211
石川県	健康福祉部障害保健福祉課	076-225-1426
福井県	健康福祉部障害福祉課	0776-20-0338
山梨県	福祉保健部障害福祉課	055-223-1460
長野県	健康福祉部障がい者支援課	026-235-7103
岐阜県	健康福祉部障害福祉課	058-272-8309
静岡県	健康福祉部障害者政策課	054-221-2328
愛知県	福祉局福祉部障害福祉課	052-954-6897
三重県	子ども・福祉部障がい福祉課	059-224-2274
滋賀県	健康医療福祉部障害福祉課	077-528-3541
京都府	健康福祉部障害者支援課	075-414-4599
大阪府	福祉部障がい福祉室障がい福祉企画課	06-6944-6271
兵庫県	健康福祉部障害福祉局いのち対策室	078-362-3263
奈良県	福祉医療部障害福祉課	0742-27-8922
和歌山県	福祉保健部福祉保健政策局障害福祉課	073-441-2532
鳥取県	福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課	0857-26-7679
島根県	健康福祉部障がい福祉課	0852-22-6009
岡山県	保健福祉部障害福祉課	086-226-7343
広島県	健康福祉局障害者支援課	082-513-3155

都道府県・指定都市名	担当窓口	電話番号
山口県	健康福祉部障害者支援課	083-933-2763
徳島県	保健福祉部障がい福祉課	088-621-2237
香川県	健康福祉部障害福祉課	087-832-3291
愛媛県	保健福祉部生きがい推進局障がい福祉課	089-912-2423
高知県	地域福祉部障害福祉課	088-823-9633
福岡県	福祉労働部障がい福祉課	092-643-3264
佐賀県	健康福祉部障害福祉課	0952-25-7401
長崎県	福祉保健部障害福祉課	095-895-2451
熊本県	健康福祉部子ども・障がい福祉局障がい者支援課	096-333-2235
大分県	福祉保健部障害者社会参加推進室	097-506-2725
宮崎県	福祉保健部障がい福祉課	0985-32-4468
鹿児島県	くらし保健福祉部障害福祉課	099-286-2746
沖縄県	子ども生活福祉部障害福祉課	098-866-2190
札幌市	保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課	011-211-2936
仙台市	健康福祉局障害福祉部障害企画課	022-214-8151
さいたま市	保健福祉局福祉部障害政策課	048-829-1306
千葉市	保健福祉局高齢障害者自立支援課	043-245-5175
横浜市	健康福祉局障害福祉部障害企画課	045-671-3604
川崎市	健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課	044-200-2928
相模原市	健康福祉局福祉部障害政策課	042-707-7055
新潟市	福祉部障がい福祉課	025-226-1248
静岡市	保健福祉局長寿局健康福祉部障害福祉企画課	054-221-1197
浜松市	健康福祉部障害保健福祉課	053-457-2864
名古屋市	健康福祉局障害福祉部障害企画課	052-972-2538
京都市	保健福祉局障害保健福祉推進室	075-222-4161
大阪市	福祉局障がい者施策部障がい福祉課	06-6208-8071
堺市	健康福祉局障害福祉部障害政策推進課	072-228-7818
神戸市	保健福祉局障害福祉部障害福祉課	078-322-6579
岡山市	保健福祉局障害・生活福祉部障害福祉課	086-803-1236
広島市	健康福祉局障害福祉部障害福祉課	082-504-2147
北九州市	保健福祉局障害福祉部障害福祉企画課	093-582-2453
福岡市	保健福祉局障がい者障がい者支援課	092-711-4985
熊本市	健康福祉局障がい者支援部障がい保健福祉課	096-328-2519



報道発表資料の配付日時 11月22日(金) 11時00分

発表項目 (行事名)	2019年度「心の輪を広げる体験作文」入賞の決定に伴う表彰楯の伝達式について								
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者							
		発表場所							
概要	<p>2019年度「心の輪を広げる体験作文」について、次のとおり入賞に伴う表彰楯の伝達式を実施する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時・場所          日時：令和元年12月11日(水) 15:40～16:00          場所：北海道上ノ国高等学校内校長室          (檜山郡上ノ国町字大留351番地)</p> <p>2 「心の輪を広げる体験作文」</p> <p>○ 毎年12月3日から9日までの障害者週間において、障害者や障害のある人に対する関心や理解を深めるための様々な取組が全国各地で実施されていることにあわせ、内閣府がその取組の一つとして、障害者週間のポスターと共に「心の輪を広げる体験作文」を全国の小中高校生、一般から作品を募ったところ、「高校生区分」において、以下のとおり佳作賞を受賞(道内では平成25年以来の受賞歴)。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">受賞区分及び 作品名</th> <th style="text-align: center;">氏名</th> <th style="text-align: center;">所属</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高校生区分佳作 (弟と家族)</td> <td style="text-align: center;">こばやし まひろ 小林 真悠</td> <td style="text-align: center;">北海道上ノ国高等学校 3年生</td> </tr> </tbody> </table> <p>今年度の応募状況 全国 作文 3,049 編          (うち高校生区分の応募 全国 作文 502 編)</p> <p>○ 小林さんの作品は、入選作品の「作品集」(内閣府発行)に掲載され、年内に各都道府県や全国小中高等学校に配布予定。</p> <p>○ 詳細は別添資料のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「心の輪を広げる体験作文」入賞者一覧</li> <li>・事業の概要(内閣府の作品募集チラシ)</li> </ul> <p>3 伝達者 北海道檜山振興局保健環境部くらし・子育て担当部長 千葉 修<small>ちば おきむ</small></p>			受賞区分及び 作品名	氏名	所属	高校生区分佳作 (弟と家族)	こばやし まひろ 小林 真悠	北海道上ノ国高等学校 3年生
受賞区分及び 作品名	氏名	所属							
高校生区分佳作 (弟と家族)	こばやし まひろ 小林 真悠	北海道上ノ国高等学校 3年生							
参考	本報道発表の他、北海道庁保健福祉部障がい者保健福祉課においても受賞内容を報道各社に同時発表予定。								
報道(取材)に当た るのお願い	当日の伝達式にあたっての同校取材対応の窓口は、実際に指導した教科担任である同校 地歴公民科 五十嵐友太郎教諭となります。 TEL 0139-55-3767								
(連絡先)	北海道檜山振興局保健環境部社会福祉課長 嘉屋 和弘 TEL ダイヤルイン 0139-52-6651 内線3800								